

事業概要：観光DXを基盤とした交流人口拡大プロジェクト

継続

申請者	愛媛県、松山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,121,361千円 (348,171千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	“観光産業”を切り口として、観光客に提供する旅行商品の付加価値向上、インバウンド観光客の誘客拡大などの実現により、観光業が本県の地域経済の持続、維持、発展に貢献することを目指す。 - 観光DMPを活用した施策立案を基盤として、効率的かつ効果的なデジタルの活用と、世界的な催しを契機としたリアル、両輪で誘客促進に取り組むことで、「旅先として選ばれる愛媛」を実現し、認知度向上に繋げる。 - 併せて、大型イベントを契機とした高付加価値旅行者へのコンテンツの造成や超富裕層へのコネクション形成、情報発信サイトの構築による広域周遊ルートへの誘因など重層的に展開し、消費額の増加に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 データ分析を基盤とした地域観光資源の磨き上げや、観光地の高付加価値化に取り組む体制を構築するとともに、デジタル広告や国際会議を活用し、県の認知度向上と更なる誘客促進に取り組む。					「サイクリストの聖地」しまなみ海道 	
	【R8年度事業 経費内訳】 - 旅行者データを用いた基盤の活用（委託料）99,957千円 - 自転車国際会議開催準備経費（負担金）85,816千円 - 体験型観光コンテンツエリア創出に向けた計画策定及び伴走支援並びにプロモーション経費（負担金）66,617千円 - 生成AIの急速な浸透に伴う検索行動の変化を踏まえたAIO対策や、旅行者データを活用し、ターゲットを意識した面での情報発信を行うサイトの構築（委託料）59,807千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本県における観光客消費額（+296億円） ②観光DMPの蓄積データを活用して観光施策を立案・改善した件数（+51件） ③県管理港湾のスーパーヨット寄港回数（+12回） ④本事業による延べ宿泊客数（日本人・訪日外国人の合計）(+807千人) ⑤E-マウンテンバイク等を活用したツアー受入環境整備数（+6箇所）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html